



活動記録 3 班

実施日：2018 年 8 月 17 日（金） 晴れ 参加者 67 名

集 合：六甲ケーブル山上駅天覧台 10：20

行 程：ケーブル山上駅（10：20）⇒六甲山ビジターセンターで講演（10：50～）・昼食・班長会議
⇒六甲高山植物園（13：30～ビデオ鑑賞とガイドによる園内観察の 2 グループに）その後自由
観察⇒六甲高山植物園内にて 15：00 解散

「六甲山ビジターセンター」では、「六甲山自然案内人の会」の香西直樹^{こうさいなおき}さんに「六甲山の生い立ち」についてお話をさせて頂きました。1. どんな山か 2. どこにあるのか 3. 地域との関係のテーマについて約 50 分間講義していただきました。

「六甲山高山植物園」では、「キレンゲショウマ」の 3000 株は日本一である。白いヒゴタイは珍しい。白と赤いゲンノショウコが見られるのはここだけ等ガイドさんから説明がありました。

所 感：「六甲山」は、約 100 万年前に地殻変動によって隆起し、風化しやすい花崗岩からなり、海岸に近く急斜面の山であること。難波宮から向こうに見えたからむこうの山から六甲山になったとか。150 年前は、はげ山だった。昔から豪雨災害が度々あり、その度に植林等治山に努めてきた。150 年前に来たグルーム氏によって生活物資の供給場、信仰の対象からレジャー・別荘地として注目されるようになったこと等興味深かった。

「高山植物園」は、見頃の「キレンゲショウマ」「ヒゴタイ」等少し前の猛暑が嘘のような、半袖では肌寒い涼風の中を観察。六甲山は、もう秋の気配が感じられた。



キレンゲショウマ



白いヒゴタイ



レンゲショウマ



シュロソウ